

## 令和3年度 五個荘地区住民福祉協議事業計画

### 【趣旨】

- 五個荘地区における住民同士の支え合い・助け合い活動や、日頃の暮らしの営みから生み出される交流やつながりを、五個荘地区の「財」（たから）としてとらえ、その価値を地区全体で確認し、共有する取り組みを進める。
- 五個荘地区の人の「財」（尊さ）がますます光輝くよう、命の尊厳・生きがいを確認め合い、多様な世代の住民と活動が交流し、新たな「財」が生み出されるような場づくりと、その仕組みとしての協議体づくりを進める。

### 【計画】

#### 1. 第2層協議体の設置及び運営

### 【目的】

- 五個荘地区における住民同士の支え合い・助け合い活動や、日頃の暮らしの営みから生み出される交流やつながりを、五個荘地区の「財」（たから）としてとらえ、その価値を地区全体で確認し、共有する。
- 五個荘地区の人の「財」（たから）がますます光輝くよう、多様な世代の住民と活動が交流することで命の尊さを確認め合い、新たな「財」が生み出される協働の基盤となる協議体づくりを進める。
- 「五個荘地区住民福祉協議」が中心となって、関係者ととも「第3次五個荘地区住民福祉活動計画」（以下、第3次計画）の策定に取り組む。

#### (1) 「五個荘地区住民福祉協議」の開催

##### ①全体会議…年3回程度

- ・住民福祉協議全体の活動内容の共有や意見交換を行いながら、第3次計画策定を総合的に推進する。

##### ②ワーキング会議（仮称）の開催…随時開催

- ・「地域の活動や資源の見える化」の活動に取り組み、その成果や課題を第3次計画に反映させる。

##### ③運営コア会議の開催…随時開催

##### ④事務局会議の開催…年3回程度

#### (2) 先進地研修の実施

- ・年1回実施

#### (3) 地域支え合い推進員の設置

- ・奥村 昭（社会福祉法人六心会 地域支援担当）

- ・辻 薫（社会福祉法人六心会 地域支援・研修企画担当）

## 2. 地域の活動や資源の見える化

---

### (1)自治会福祉委員会活動の「見える化」の推進

- ・自治会福祉委員会活動を広げ深めるために、五個荘地区社会福祉協議会と協働して自治会福祉委員会の活動を訪問調査し、その活動概要とポイントを整理・編集する。
- ・上記の内容を五個荘地区社会福祉協議会と共催する「福祉委員研修会」にて報告するとともに、ホームページや活動レポート「人は財（たから）まちの財（たから）」（Vol.2）で広報・啓発する。

### (2)子ども・子育て応援活動の「見える化」の推進

- ・五個荘地区の公私の子育て応援事業・活動を訪問調査して、「子育て応援マップ」（仮称）を作成して、「見える化」を進める。
- ・上記のマップとともに訪問・調査した事業・活動の概要をまとめて、ホームページで発信し、五個荘地区内の子育て応援活動の「財」を広報する。

### (3)「集い」の場の「見える化」の推進

- ・五個荘地区内で営まれている大小様々な「集いの場」を訪問・調査し、その内容をホームページのブログ記事で発信するとともに、五個荘版「集（つど）いいね」として編集し、活動レポート「人は財（たから）まちの財（たから）」（Vol.2）で広報する。

※「集いいね」は東近江市社会福祉協議会が発行する市内の集いの場の事例集

### (4)アンケート調査の実施

- ・五個荘地区内の各世代を抽出したアンケート調査を実施して、地域資源の改善や創出等に関するニーズを把握し、その結果を分析・検討して「第3次五個荘地区住民福祉活動計画」に反映させる。